

白神山地巡視日誌

【巡視箇所】 ニッ森登山道

【巡視日】 平成30年9月12日（水）

【報告者】 一般職員 齊藤 俊介

ニッ森は登山口からわずか数分で世界遺産地域内に入れることから、白神山地の中でも気軽に原生のブナ林を感じられると人気のスポットです。毎年山開き直後は、登山道が藪で覆われていて歩行の支障となるため、白神山地世界遺産地域連絡会議主催で整備を行っています。今年は町道白神ニッ森線が8月下旬まで補修工事により通行止めになっていて、9月まで入山できずにいたことから登山道は例年より荒れていました。今回の整備は地域連絡会議の構成機関である東北地方環境事務所・東北森林管理局・秋田県・八峰町の他、地元ガイド団体から合計17人が参加しました。今年4月に新規採用で青森県から当センターに着任して以来、今回が業務で初となる登山は、ニッ森の登山道整備を兼ねたものでした。



丁寧に藪を刈り払っていきます



登山道整備に汗を流す参加者



皆さんの協力のおかげで綺麗に整備された登山道

今回の登山道整備は、登山コースの中間地点から作業を行う先発隊と、登山口から作業する後発隊の2班に分けて刈り払いを行いました。登山道に被さっている藪や枝などを剪定ばさみで刈り払っていき、木道上に釘が出ているところは金づちで打ち込んで、登山客の皆さんが安全に歩けるように配慮しました。山頂まで一般的には1時間もかからずに登れますが、作業をしながらの行程では2時間近くかかり、山頂に着いたのは12時頃でした。



地元青森と秋田の県境から眺める岩木山

天気が良く見通しが効いていたので、山頂からは白神山地主稜線の白神岳や向白神岳、太夫峰の他に、花の百名山に選ばれている森吉山や、日本百名山の岩木山・岩手山・鳥海山までも確認することができました。岩木山は津軽平野のどこからでも眺められるため、青森県民の私にとって馴染みのある山ですが、場所によって山の形が大きく異なって見えます。ニッ森から見える岩木山は、私の地元つがる市から毎日眺めていた見慣れた三角形をしており、一番好きな形の岩木山を眺める事が出来ました。

着任して今回初めて登った白神山地の山でしたが、私のように歩きなれていない人でも無理なく登る事ができたので、初心者でも安心の登山コースだと感じました。なお、今回の巡視では禁止されている立木の伐採、植物の採取、ゴミの投棄などは見受けられませんでした。より多くの人に白神山地の魅力を知っていただくため、これからも各関係機関と協力しながら巡視活動に取り組み、この「白神山地巡視日誌」で情報発信していきます。



白神岳	真瀬岳	向白神岳	太夫峰
標高 1232m	標高 988m	標高 1243m	標高 1164m

赤石川源流泊沢

紅葉はまだ始まっていませんでしたが、ナナカマドに真っ赤な実がついていました。